# 備 前 市 事 務 事 業 評 価 表

（平成19年度事業）

## 事業の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 道路等新設改良事業 | コード | 01-01-11-05 |
| 事業開始年度 | 平成17年度～ | 根拠法令・要綱等 | 道路法 |

| 総合計画 | | | 問合せ先 | |
|---|---|---|---|---|
| 大項目 | 基本目標 | 安全で快適に暮らせるまちづくり | 担当課（室） | 都市整備課 |
| 中項目 | 基本施策 | 生活しやすいまちづくり | 職・氏名 | 土木係長　梶藤 |
| 小項目 | 施　策 | 道路 | 電　話 | 0869-64-1835 |

## 事業の実施

| | |
|---|---|
| 対　象（誰・何に対して） | 道路を通行する歩行者・自転車・二輪車・車両 |
| 目　的（何のために） | 安全で安心して円滑に道路を通行するために。 |
| 行政活動（どのような方法で） | 市道の拡幅、歩道の整備、未舗装道路の舗装整備を行う。 |
| 事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか） | 道路改良により、幅員が3.5m以上となる工事の割合を一定以上保ち、改良効果の向上を図る。 |

## 事業の実績

| | 実施項目 | 単位 | 平成17年度実績 | 平成18年度実績 | 平成19年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 活動実績 | 幅員3.5m以上改良延長 | m | 1,314 | 1,020 | 1,145 |
| | 改良工事箇所数 | 箇所 | 18 | 19 | 32 |
| | 改良延長（橋梁部除く） | m | 1,314 | 998 | 1,121 |
| | 改良延長 | m | 2,185 | 1,530 | 1,773 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 事業費 | 直接事業費 | 千円 | 254,422 | 243,878 | 179,410 |
| | 人件費 | 千円 | 23,565 | 23,526 | 24,302 |
| | 事業費計 | 千円 | 277,987 | 267,404 | 203,712 |
| 財源 | 国県支出金 | 千円 | 15,070 | 44,000 | 44,880 |
| | 受益者負担 | 千円 | | | |
| | 市債 | 千円 | 125,761 | 101,870 | 79,700 |
| | 一般財源 | 千円 | 137,156 | 121,534 | 79,132 |
| | 必要人員 | 人 | 3.40 | 3.32 | 3.96 |

| | 結果指標名 | 単位 | 平成17年度実績 | 平成18年度実績 | 平成19年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 結果指標① | 改良延長 | 説明 | 改良工事を行った道路の全延長 | | |
| | 結果指標量 | m | 2,185 | 1,530 | 1,773 |
| | 対前年比 | % | — | 0.70 | 1.16 |
| | 活動コスト | 円 | 127,996,600 | 158,824,950 | 179,409,593 |
| | 単位当たりコスト | 円 | 58,580 | 103,807 | 101,190 |
| 結果指標② | 幅員3.5m以上改良延長 | 説明 | 改良工事後に幅員が3.5m以上になった道路の延長(橋梁部除く) | | |
| | 結果指標量 | m | 1,314 | 998 | 1,121 |
| | 対前年比 | % | — | 0.76 | 1.12 |
| | 活動コスト | 円 | 99,511,150 | 72,232,950 | 87,329,493 |
| | 単位当たりコスト | 円 | 75,731 | 72,378 | 77,903 |

## 事業の成果

| | | | |
|---|---|---|---|
| 成果指標名 | 改良工事に占める3.5m以上改良延長の割合 | 式又は説明 | 3.5m改良延長（m）÷改良延長（m） |

| | 17年度 | 18年度 | 19年度 |
|---|---|---|---|
| 成果指標量 | 60% | 67% | 63% |
| 対前年比 | — | 111.67% | 94.37% |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 到達目標値 | 65% | 到達目標年度 | 毎年度 |

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

## 事務事業の評価

### 妥当性の評価

| 項目 | 評価 |
|---|---|
| 目的 | ☑ 関法令等で目的が定められており妥当である（法律・政令）<br>☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である<br>☑ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている<br>☐ 事業開始当初の目的から変化している |
| 対象 | ☐ 対象を見直す必要がある |
| 行政活動 | ☐ 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない |
| 事業の意図する成果 | ☐ 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない |
| 市民ニーズ | ☑ 市民、団体などから要望・要請の強い事業である |
| 市の関与 | ☑ 本市が関与しなければならない事業である<br>☐ 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい<br>☐ 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である |

妥当性評価<A～E>　A

課題認識

道路新設改良事業は、市が管理する道路の改良を行う事業であり、住民からの要望が多い事業であるので市が関与することは妥当である。

### 効率性の評価

| 項目 | 評価 |
|---|---|
| コスト | ☐ コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい<br>☑ コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい<br>☐ サービスを低下させずにコストを低減することは困難<br>☐ 受益者負担額を見直す余地がある |
| 手段 | ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない<br>☑ 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている<br>☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある |
| 職場 | ☑ 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている<br>☑ 事業に関するOJT（職場研修）は行われている<br>☐ 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい |

効率性評価<A～E>　B

課題認識

測量設計においては他部署の所有する電子平面図ﾃﾞｰﾀを利用し作業量を減らすことで、設計積算においては図面・数量計算の電子化により作業時間を減らすことでコストの縮減を図っていく。単位当たりコストが前年度より高いのは、比較的に道路幅の広い改良工事が多かったためである。

### 有効性の評価

| 項目 | 評価 |
|---|---|
| 目的達成度 | ☐ 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである<br>☐ 成果指標は前年度より向上している |
| 成果向上の可能性 | ☐ 成果は向上しており今後も向上する見込みである<br>☑ 今後、成果指標は向上する余地がある |
| 市民参画度 | ☐ 事業について積極的に情報提供している<br>☐ 事業実施等で積極的に市民意見を反映している<br>☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している<br>☐ 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている |

有効性評価<A～E>　B

課題認識

1年ごとに改良済み延長は増えており成果は上がっている。整備箇所については、事業効果等を考慮して順次整備していく必要がある。

## 平成20年度の状況

☐ 重点化している　☐ 休止している
☐ 前年度と同様に継続している　☐ 他の事業と統合している
☑ 見直し継続している
☑ 事業を縮小している　☐ 平成19年度で廃止・完了

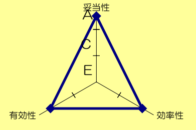
説明：コスト等を考慮し、用地寄付、地元協力が得られやすい箇所を重点的に整備を行っている。

| 目標値 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 結果指標量① | 1,600 | 結果指標量② | 1,100 |
| | 成果指標量 | 65% | | |

## 総合評価

コスト等を考慮し、用地寄付、地元協力が得られやすく事業効果の得られる箇所箇所を重点的に整備を行い、路肩のみの改良ではなく、車輌がすれ違うことの出来る幅員を確保する必要がある。

評価区分<A～E>　B




## 平成21年度以降の方向性

☐ さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)　☐ 事業の縮小を検討する
☐ 現状のまま継続する　☐ 休止・廃止を検討する　☐ 平成20年度で廃止・完了
☑ 見直しのうえで継続する　☐ 他の事業と統合を検討する

## 平成21年度以降の改善事項

| 評価の視点 | 改善内容 | 改善時期 | 改善により期待される効果 |
|---|---|---|---|
| 効率性 | 要望箇所データベース化 | H20年度 | 事業効果の得られる箇所を重点的に整備することが出来る。 |
| | | | |
| | | | |